2026年度 第1四半期

決算資料

Consolidated Financial Results

2026年8月6日

株式会社TBSホールディングス

第1四半期 サマリー

TBS

2026年度　第1四半期決算

- 連結全体では、**増収減益**。第1四半期としての売上高は、過去最高。
- メディア・コンテンツ事業は、**増収減益**。
  TBSテレビでは、中東情勢に伴う広告市況の軟調な推移によるスポット収入の減少を、催事・興行やアニメの二次利用収入の増加でカバーしたものの、微減収。
  一方、THE SEVENでの大型作品の納品やWACULの連結取込により、セグメント全体では、増収。利益面では、スポット収入減少の影響が大きく、減益。
- ライフスタイル事業は、**増収減益**。
  スタイリングライフグループは、ビコーズの損益取込やCath Kidstonほか新規事業領域が売上を伸ばし増収したものの、主力事業の苦戦等により、減益。
  やる気スイッチグループは、授業料収入等の増加により増収となったものの、人件費の増加等が影響し、減益。
- 不動産・その他事業は、**増収増益**。

2026年度　連結業績見通し　※修正あり

- 中東情勢の緊迫化をはじめとする世界経済の先行き不透明感の高まりを受け、TBSテレビでのスポット収入が前回発表予想を下回る水準で推移すると想定し、
  売上高、営業利益、経常利益を**下方修正**。
- なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の規模差を織り込んだため、**変更なし**。配当予想も、**変更なし**。

規律ある資本コントロールの進捗（自己株式取得と消却）

- 2026年5月14日、**650万株**、**360億円**を上限とする自己株式取得（取得期間2026年5月15日～2027年2月26日）を発表
- 2026年5月29日、**450万株**を消却
- 2026年6月17日、自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、2,739,600株取得
- 2026年7月末時点、7/1～31にて取引一任方式による東京証券取引所における市場買付けにより、690,400株取得
  （取得した株式の総数 **3,430,000株**、取得価額の総額 **21,182,627,000円**）

目次

2026年度　第1四半期決算ハイライト
2026年度　業績見通し
株主還元
その他トピックス
参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境等の変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先　〒107-8006
東京都港区赤坂5丁目3番6号　Tel：03-3746-1111（代表）
株式会社TBSホールディングス　総務局コーポレートガバナンス部IR室
HP：https://www.tbsholdings.co.jp/ir/

▶2026年度　第1四半期決算ハイライト

2026年度　業績見通し

株主還元

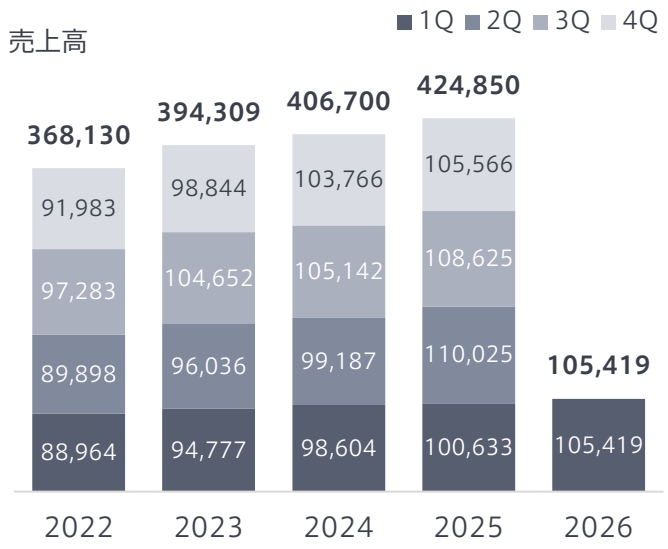
その他トピックス

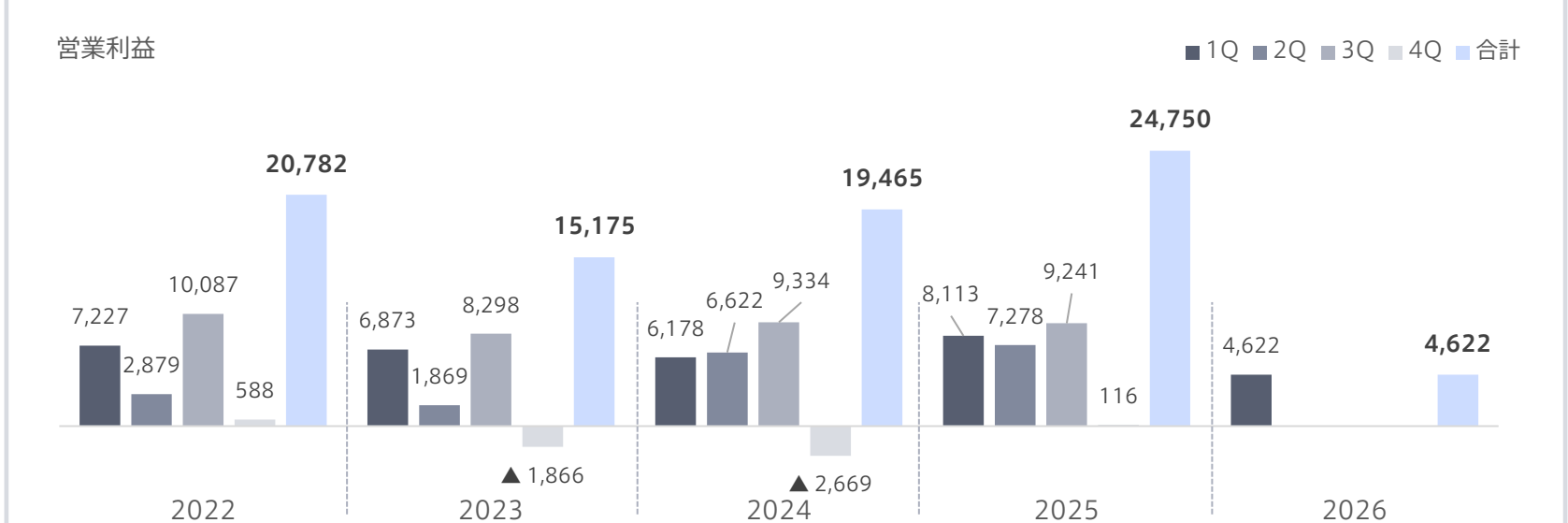
参考資料

連結損益計算書

単位：百万円

連結	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率
売上高	100,633	**105,419**	+4,786	+4.8%
営業利益	8,113	**4,622**	▲3,491	▲43.0%
経常利益	15,819	**12,810**	▲3,009	▲19.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,704	**14,490**	▲3,214	▲18.2%





連結セグメント別　実績

単位：百万円

	外部売上				営業利益				
	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	増減率	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	増減率	2025年度 1Q (※)
メディア・コンテンツ	74,102	**78,213**	+4,110	+5.5%	5,987	**2,557**	▲3,430	▲57.3%	5,119
ライフスタイル	22,332	**22,868**	+536	+2.4%	131	**▲757**	▲888	-	131
不動産・その他	4,198	**4,337**	+139	+3.3%	1,995	**2,823**	+828	+41.5%	2,863
調整額	-	**-**	-	-	▲0	**▲0**	▲0	-	▲0
連結	100,633	**105,419**	+4,786	+4.8%	8,113	**4,622**	▲3,491	▲43.0%	8,113

(※)セグメント別の2025年度実績を、TBS放送センターを移管したと仮定して算出（推定値）

単位：百万円

主な増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	THE SEVEN+3,841　WACUL+647	TBSグロウディア+392　TCエンタテインメント+256 TBSテレビ▲3,931
ライフスタイル	スタイリングライフグループ+300　やる気スイッチグループ+236	スタイリングライフグループ▲737　やる気スイッチグループ▲151
不動産・その他		TBS HD+1,015　赤坂熱供給▲97

TBSテレビ　損益計算書

中東情勢等の影響により軟調な広告市況によるスポット収入や配信広告収入の減少を、有料配信収入、催事・興行やアニメの二次利用収入の増加でカバーしたものの、**微減収**。
利益面では、広告収入に連動した費用の減少に加え、費用の抑制を図ったものの、有料配信および事業部門の増収に伴う費用増、放送センター移管に伴う費用の増加などで、**減益**。

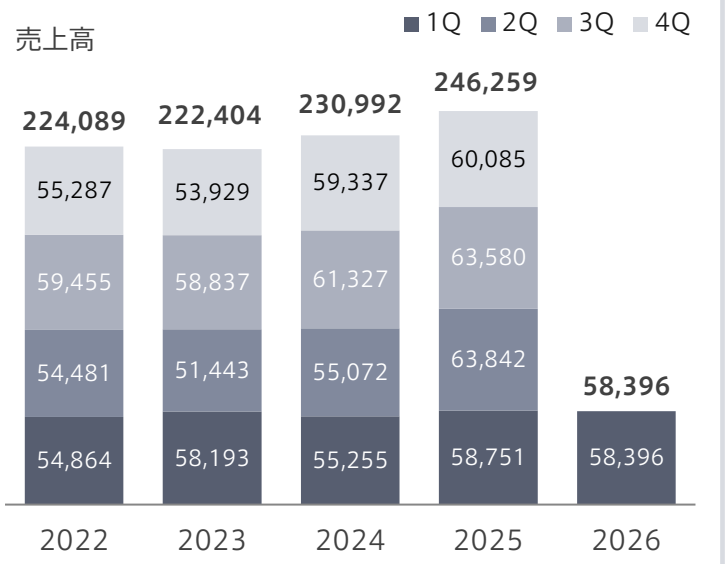
TBSテレビ	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	増減率
売上高	58,751	**58,396**	▲354	▲0.6%
営業利益	7,131	**3,200**	▲3,931	▲55.1%
経常利益	8,306	**4,680**	▲3,626	▲43.7%
四半期純利益	8,893	**7,242**	▲1,650	▲18.6%

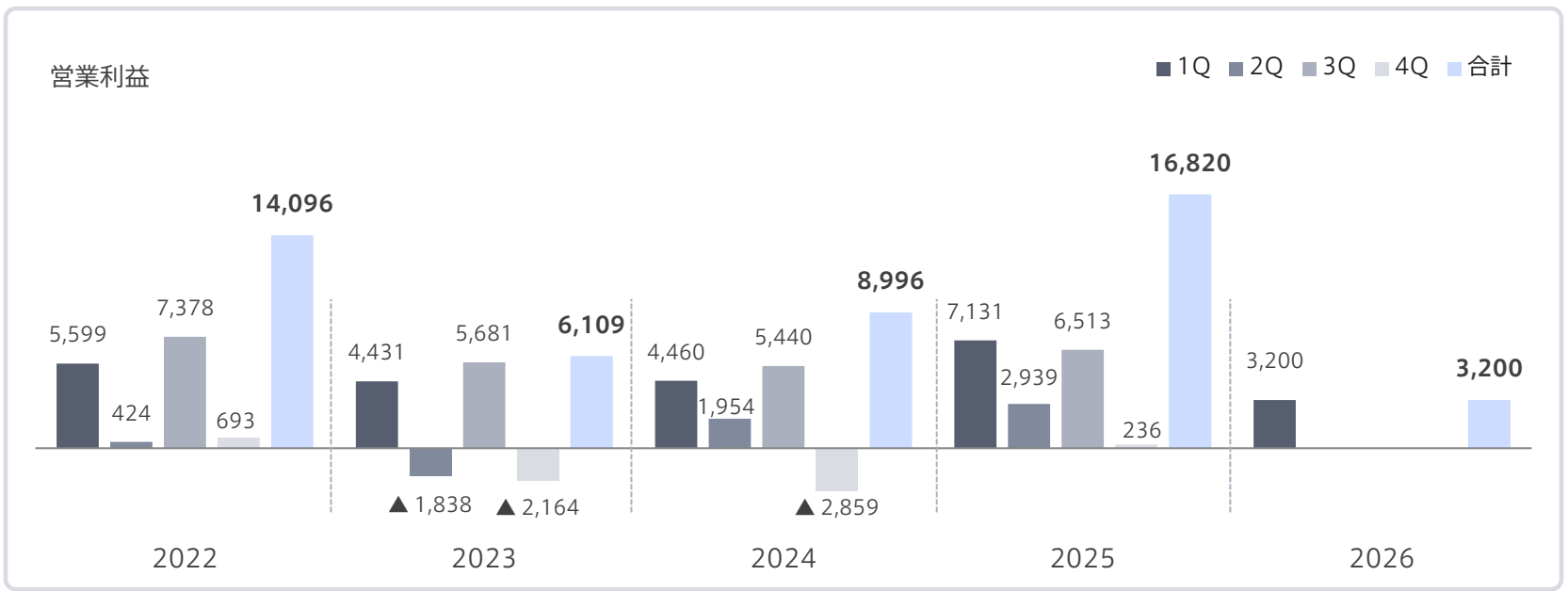
単位:
百万円

営業費用など

- 番組原価　+302
- 代理店手数料　▲653(当期6,443)
- ネットワーク費　▲125
- その他テレビ部門・配信部門原価（決算処理含む）　+1,662
- 事業部門営業費用　+1,187
- 放送センター移管に伴う費用増　+413

- 特別利益（投資有価証券売却益）　当期　5,730





TBSテレビ　収入内訳

単位：百万円

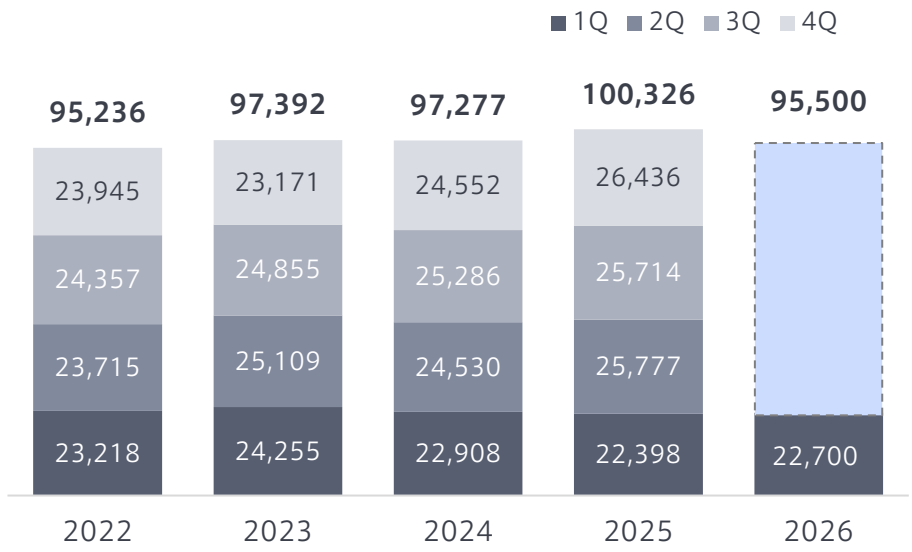
	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差	増減率	コメント
テレビ	54,794	**51,957**	▲2,837	▲5.2%	有料配信が好調な中、タイムは想定内の減収に留まったものの、スポット、配信広告の不振により**減収**。
タイム	20,313	**19,707**	▲605	▲3.0%	視聴率は堅調も、レギュラーセールスにおける提供スポンサー変動の影響等で**減収**。
スポット	22,350	**19,687**	▲2,662	▲11.9%	視聴率は堅調も、中東情勢に伴う広告市況軟調の影響等で**減収**。
配信広告	3,073	**2,727**	▲346	▲11.3%	TVer3冠獲得で在庫増の一方、中東情勢に伴う広告市況軟調の影響等で**減収**。
有料配信	2,900	**3,744**	+844	+29.1%	Netflixシリーズ「九条の大罪」（製作著作TBSテレビ）の収入等により**増収**。
その他	6,157	**6,089**	▲67	▲1.1%	-
事業	3,365	**6,188**	+2,822	+83.9%	「ピクサーの世界展」の大ヒットに加えて、アニメの海外販売等二次利用収入の増加等により、**増収**。
不動産	590	**251**	▲339	▲57.5%	TBSテレビからTBSHDへの放送センター移管の影響により**減収**。
収入合計	58,751	**58,396**	▲354	▲0.6%	事業部門が増収したものの、テレビ部門のスポット収入の減少等で、**微減収**。

テレビ番組原価（制作費）

	2025年度	**2026年度**	前年差
第１四半期	22,398	**22,700**	+302
第２四半期	25,777	-	-
上期合計	48,175	-	-
第３四半期	25,714	-	-
第４四半期	26,436	-	-
下期合計	52,151	-	-
通期累計	100,326	**95,500**	▲4,826

単位:
百万円

※青枠内の通期累計は、見込みです。



TBSテレビ　事業部門収益

単位：百万円

部門	売上高			粗利益			主な増減要因
	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	
アニメ	813	**1,379**	+566	▲303	**860**	+1,163	「氷の城壁」等海外配信の好調により**増収**。地上波放送アニメ制作費の費用配分の適正化等による影響で、**増益**。
映画	551	**534**	▲16	▲25	**59**	+84	映画「TOKYO MER」シリーズの配信セールスが好調も、前年ヒットした「＃真相をお話しします」の反動で**減収**。利益は**増益**を確保。
ライブ エンタテインメント	1,336	**3,320**	+1,983	▲8	**266**	+275	大ヒット中の「ピクサーの世界展」等好調なイベントが前年同期比で増加したことに加え、舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の歴代キャスト出演等もあり、**増収増益**。
コンテンツビジネス	157	**173**	+16	130	**116**	▲13	DVD販売の苦戦が続く中ショッピングがカバーし、**増収**。利益は、海外商談会の出展等費用増で、**減益**。
グローバルビジネス	506	**670**	+163	254	**300**	+46	NINJA WARRIORのフォーマット販売が前年を上回ったほか、ドラマの海外配信セールスにおいて大型案件の販売成立等により、**増収増益**。
ミュージック・ エンタテインメント (※)	-	**109**	+109	-	**99**	+99	オーディションプロジェクト「THE LAST PIECE」から誕生した「STARGLOW」関連の収入に加え、音楽映像クリップを販売。
その他営業費用				▲404	**▲425**	▲20	
部門計	3,365	**6,188**	+2,822	▲356	**1,278**	+1,635	事業部門全体では、**増収増益**。

(※)「ミュージック・エンタテインメント」を2026年度より新設。
主に「ライブエンタテインメント」から「CDTVライブ!ライブ!大感謝祭」等の音楽フェスが移管し、「グローバルビジネス」から「STARGLOW」等音楽関連のIP事業が移管。

メディア・コンテンツセグメントの主なグループ会社状況

単位：百万円

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前年差	
TBSラジオ	1,847	**1,842**	▲4	▲43	**▲75**	▲32	イベント収入、デジタル音声収入が堅調に推移する中、放送収入が減少したこと等により、**減収減益**。
BS-TBS	4,284	**4,178**	▲105	868	**814**	▲54	ショッピング収入の伸長も、タイム収入およびスポット収入が減少し、**減収減益**。
TBSグロウディア	7,027	**7,334**	+306	▲49	**342**	+392	「超危険生物展」等イベント収入好調に加え、ショッピング収入の増加等により、**増収増益**。
日音	2,199	**2,131**	▲68	180	**206**	+26	邦楽収入の増加も、業務代行収入の減少等により、**減収増益**。

スタイリングライフグループ

PLAZAは、キャラクター商材は伸長したものの、暑さ対策商材や化粧品の販売が減少したこと等により、**減収減益**。
BCLは、主力商品の「サボリーノ」や「乾燥さん」の販売が減少したこと等により、**減収減益**。
グループ全体では、ビコーズの損益取込やCath Kidstonほか新規事業領域が売上を伸ばし**増収**したものの、主力事業の苦戦等により、**減益**。

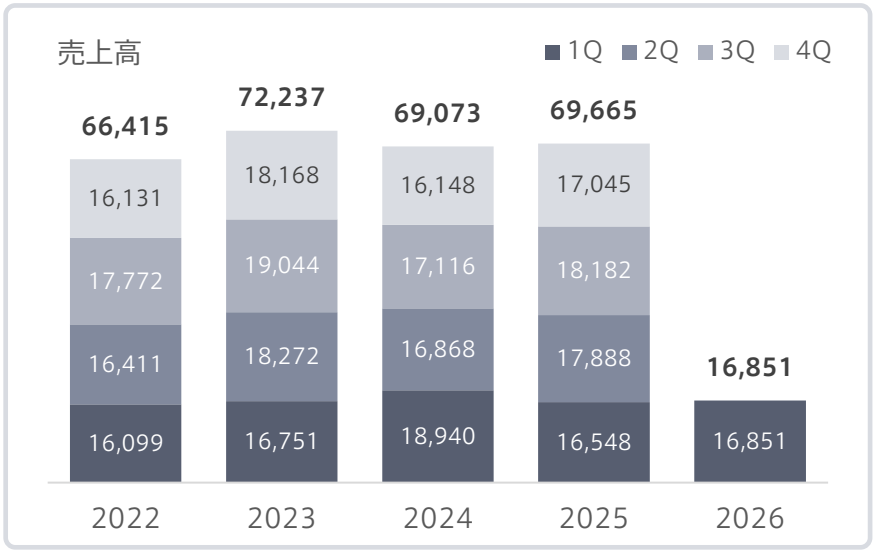
単位:
百万円

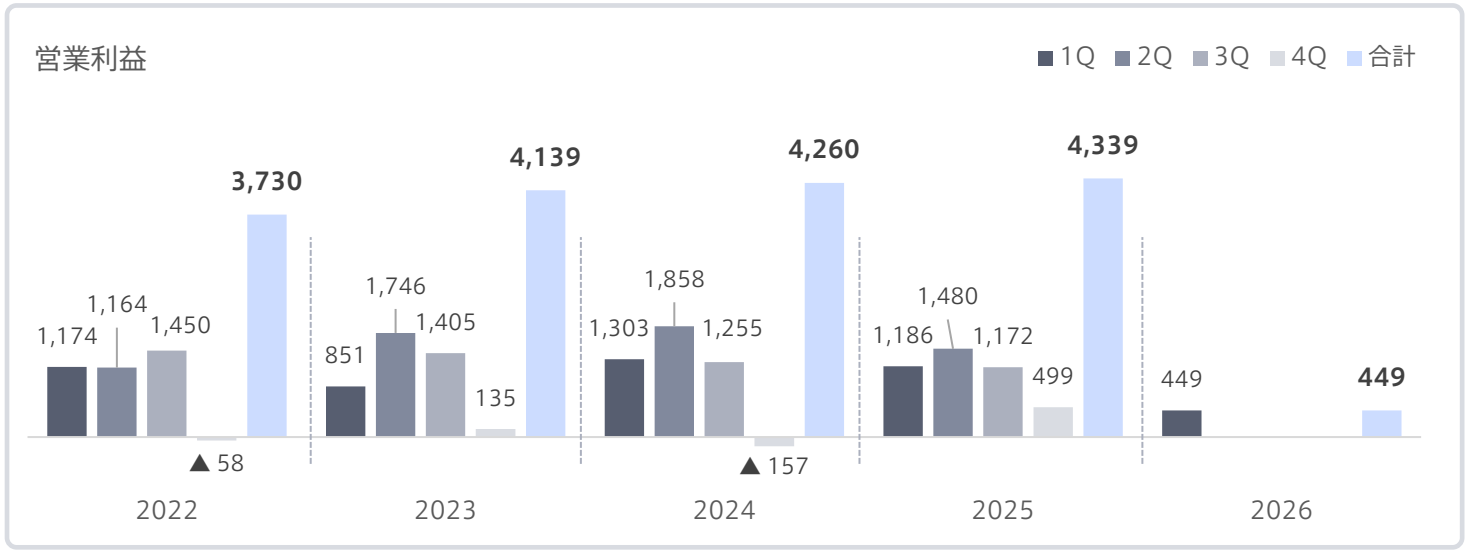
連結	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差
売上高	16,548	**16,851**	+302
営業利益	1,186	**449**	▲737

単位:
百万円

事業別	売上高※1		
	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年差
PLAZA	12,046	**11,768**	▲277
BCL・CPコスメティクス	4,361	**3,985**	▲376
本社およびその他※2	140	**1,096**	+956
計	16,548	**16,851**	+302

※1 事業別の売上高は管理会計上の数値。　※2 本社およびその他には、ビコーズおよびCath Kidstonほか新規事業領域の売上を含む。





やる気スイッチグループ

やる気スイッチグループは 国際会計基準（以下、IFRS）を適用しており、
連結上ではIFRSを日本基準に組み替えた上で、26年3月～26年5月の3か月分を取り込んでいます。

TBS

売上収益は、生徒数全体が減少したものの、バイリンガル幼児園等の高単価ブランドにおける直営比率の上昇に伴い、授業料収入等が増加し、**増収**。
利益面では、直営比率の上昇に伴う使用権資産の減価償却費増加や、不採算フランチャイズ教室の直営化等による人件費の増加等が影響し、**減益**。

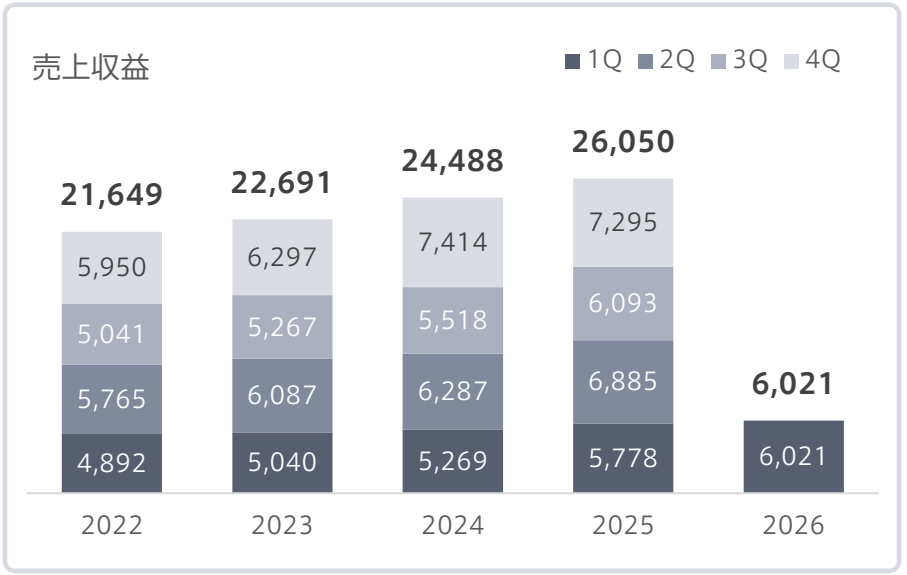
単位：百万円

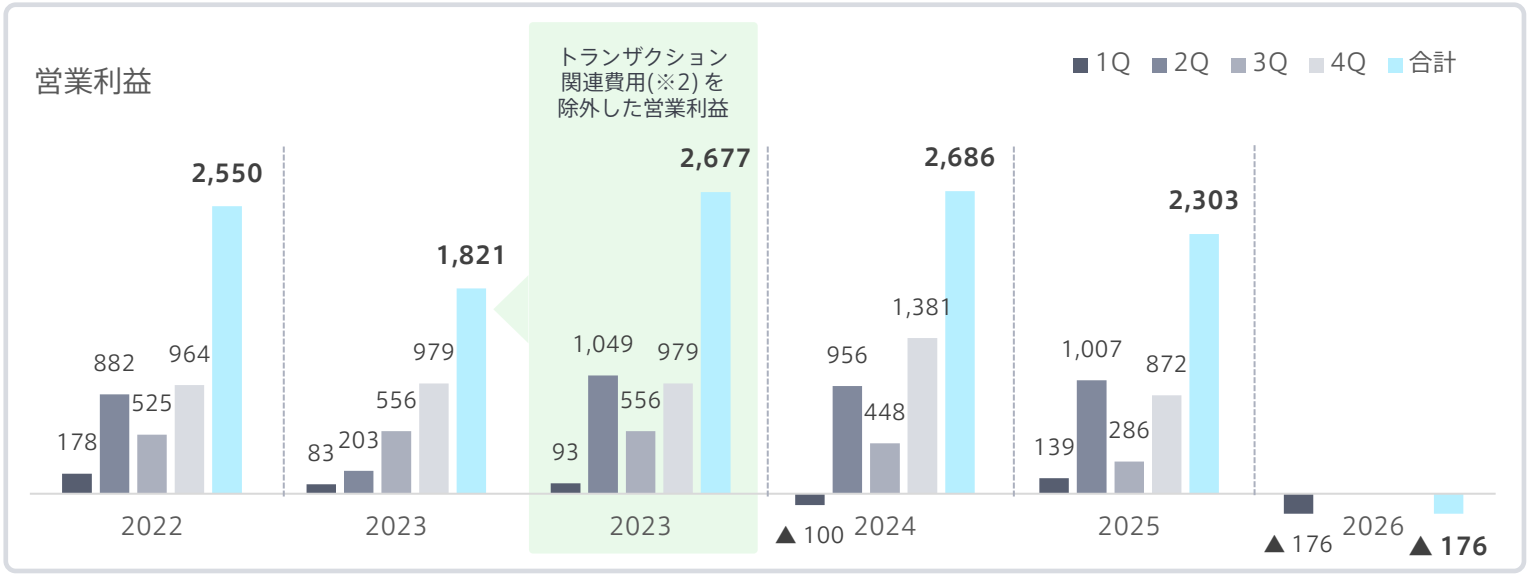
連結	2025年度 1Q（3-5月）	**2026年度 1Q（3-5月）**	前年差
売上収益	5,778	**6,021**	+243
営業利益	139	**▲176**	▲314

※1 事業別の売上収益は管理会計上の数値。

単位：百万円

事業別	売上収益 ※1		
	2025年度 1Q（3-5月）	**2026年度 1Q（3-5月）**	前年差
個別指導塾事業	2,292	**2,287**	▲5
幼児教育他事業	3,486	**3,734**	+248
計	5,778	**6,021**	+243





※2 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用 (IFRS) を指し、連結上では日本基準に組み替えて 一部を特別損失に計上しています。

2026年度　第1四半期決算ハイライト

▶2026年度　業績見通し

株主還元

その他トピックス

参考資料

2026年度　連結業績予想　※修正あり

TBS

中東情勢の緊迫化をはじめとする世界経済の先行き不透明感の高まりを受け、TBSテレビでのスポット収入が前回発表予想を下回る水準で推移すると想定し、
売上高、営業利益、経常利益を**下方修正**。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の規模差を織り込んだため**変更なし**。配当予想も、**変更なし**。

単位：百万円

連結	2025年度 実績	前回予想 (5/14発表)	**修正予想**	前回予想 からの増減
売上高	424,850	440,000	**435,000**	▲5,000
営業利益	24,750	26,000	**23,000**	▲3,000
経常利益	37,373	39,000	**38,000**	▲1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	52,228	48,500	**48,500**	-

単位：百万円

セグメント別	売上高				営業利益				
	2025年度 実績	前回予想 (5/14発表)	**修正予想**	前回予想 からの増減	2025年度 実績	前回予想 (5/14発表)	**修正予想**	前回予想 からの増減	2025年度 実績 (※)
メディア・コンテンツ	312,237	318,000	**313,000**	▲5,000	14,612	12,000	**9,000**	▲3,000	11,567
ライフスタイル	95,724	105,000	**105,000**	-	2,866	3,900	**3,900**	-	2,866
不動産・その他	16,888	17,000	**17,000**	-	7,271	10,100	**10,100**	-	10,316
調整額	-	-	**-**	-	▲0	-	**-**	-	▲0
連結	424,850	440,000	**435,000**	▲5,000	24,750	26,000	**23,000**	▲3,000	24,750

※セグメント別の2025年度実績を、TBS放送センターを移管したと仮定して算出（推定値）。

2026年度　TBSテレビ業績予想　※修正あり

中東情勢の緊迫化をはじめとする世界経済の先行き不透明感の高まりを受け、広告主の慎重な出稿姿勢が継続していることから、
スポット収入が前回発表予想を下回る水準で推移すると想定し、売上高を**下方修正**。
一定の費用削減を図るものの、営業利益以下の業績予想も**下方修正**。

単位：百万円

TBSテレビ	2025年度 実績	前回予想 (5/14発表)	**修正予想**	前回予想 からの増減
売上高	246,259	253,700	**248,700**	▲5,000
営業利益	16,820	15,000	**12,000**	▲3,000
経常利益	18,912	17,000	**14,000**	▲3,000
当期純利益	39,966	15,300	**13,300**	▲2,000

※2026年度予想については、TBS放送センター移管影響を織り込んだ数値。

単位：百万円

	2025年度 実績	前回予想 (5/14発表)	**修正予想**	前回予想 からの増減
タイム	88,650	85,800	**85,800**	-
スポット	87,413	87,700	**82,700**	▲5,000
番組原価	100,326	95,800	**95,500**	▲300

2026年度　第1四半期決算ハイライト

2026年度　業績見通し

▶株主還元

その他トピックス

参考資料

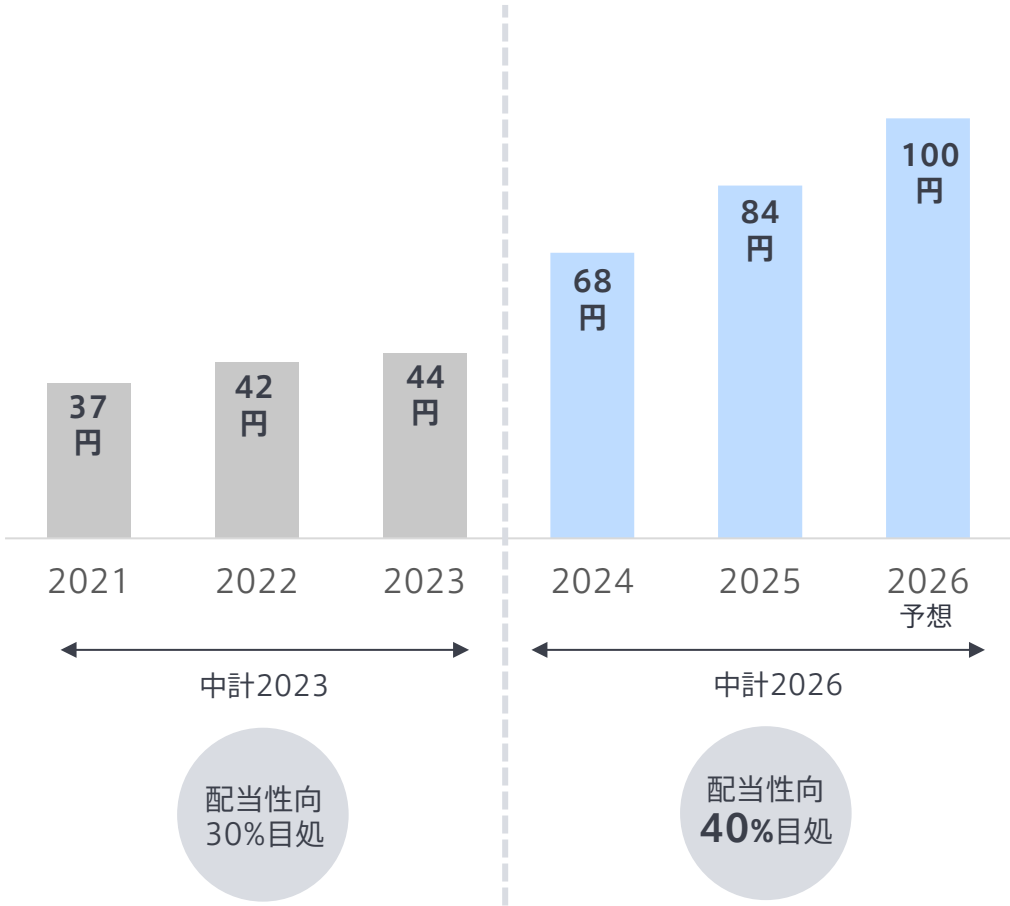
株主還元方針と年間配当予想

基本方針　連結ベースの配当性向**40%**を目処として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、**総還元性向**を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施します。

2026/5/14発表の配当予想より変更なし。
26年度は、中間配当金50円、期末配当金50円、年間配当金100円の予想。

	1株当たり配当金（円）			配当性向（%）	特殊な要因（※1）の影響を除いた配当性向（%）
	中間	期末	年間		
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度	22	22	44	18.9	34.4
2024年度	27	41	68	24.9	38.9
2025年度	35	49	84	25.3	43.1
2026年度（予想）	**50**	**50**	**100**	**31.6** (※2)	**40%目処**

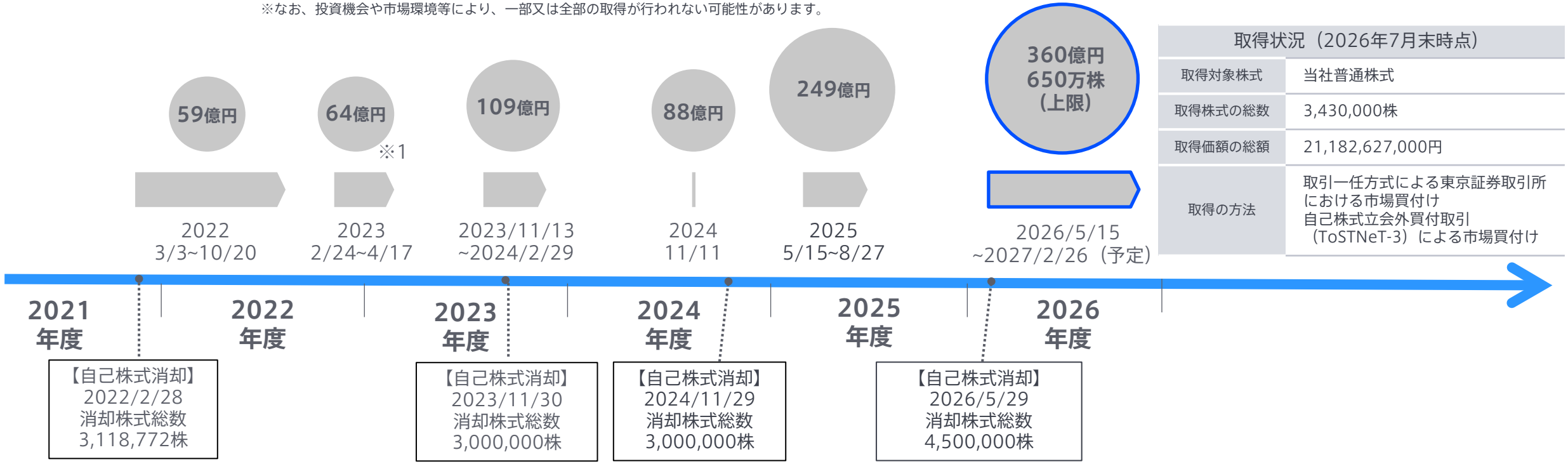
※1.成長投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益等を、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付ける。
※2.自己株式の消却に伴い、5/14発表の予想から変更。



自己株式取得

自己株式の取得に関する決議内容（2026年５月14日発表）	
取得対象株式	当社普通株式
取得株式の総数	6,500,000株（上限）
取得価額の総額	36,000,000,000円（上限）
取得の方法	（1）取引一任方式による東京証券取引所における市場買付け （2）自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による市場買付け
取得期間	2026年5月15日～2027年2月26日

※なお、投資機会や市場環境等により、一部又は全部の取得が行われない可能性があります。



取得状況（2026年7月末時点）	
取得対象株式	当社普通株式
取得株式の総数	3,430,000株
取得価額の総額	21,182,627,000円
取得の方法	取引一任方式による東京証券取引所における市場買付け 自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による市場買付け

※1 当社が資金を拠出し、株式付与ESOP信託が所有する株式

2026年度　第1四半期決算ハイライト

2026年度　業績見通し

株主還元

▶その他トピックス

参考資料

LTV4-59戦略とタイムレスバリュー

※LTV4-59：男女4-59歳の個人視聴率

TBS

（※【　】内は前年差　単位：%）

LTV4-59　第1四半期視聴率
（2026/3/30～2026/6/28：週ベース）

	全　日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	1.8【+0.1】↑	3.7【+0.1】↑	3.5【+0.1】↑	1.3【0.0】
PUT	9.9【0.0】	18.3【▲0.2】↓	17.3【▲0.2】↓	7.8【0.0】

（ビデオリサーチ調べ：関東地区）

配信

TVer　**第1四半期　三冠達成**

総再生回数	約**2億5,910万**回（+8.2%）
UB数	約**2,170万**UB（+0.3%）
総再生時間	約**1億1,380万**時間（+0.3%）

※（　）内は前年差

第1四半期は、4月ドラマ、バラエティをベースとして、「花より男子」「VIVANT」（第1シーズン）等の過去作品が再生数を押し上げ。

「VIVANT」(第2シーズン) 初回再生数875万回

TVerにて配信された全てのドラマの中で、初回でも単話でも圧倒的１位。

参考：TBS歴代ドラマ初回再生数　※初回再生数…初回配信日＋７日間<計８日間>の再生数

1.VIVANT（26年7月期･日)※第2シーズン	**875万回**
2.リブート（26年1月期･日）	478万回
3.VIVANT（23年7月期･日）※第1シーズン	399万回
4.じゃあ、あんたが作ってみろよ（25年10月期･火）	396万回
5.御上先生（25年1月期･日）	365万回
6.Tシャツが乾くまで（26年7月期･金）	**347万回**
7.不適切にもほどがある！（24年1月期･金）	340万回

火→火曜ドラマ、金→金曜ドラマ、日→日曜劇場

「Tシャツが乾くまで」は、歴代金曜ドラマの中で初回再生数1位。2話以降も再生数増加中。

U-NEXT　課金ユーザー数**522万**人

出典：株式会社U-NEXT HOLDINGS 2026年8月期 第3四半期決算説明資料

- 「バレーボール　ネーションズリーグ2026」
  日本語実況・解説付きで男女日本戦全試合独占生配信。
- 「VIVANT」（第2シーズン）を独占見放題配信。
  公式サイドストーリー「ドラム―VIVANT THE ORIGIN STORY―」も好評。

2026年度7月期ドラマ

火曜ドラマ

金曜ドラマ

日曜劇場

グローバルビジネス

Inspiring Global Love for Japan through Timeless Moments

TBS

海外パートナーとの連携

コンテンツの開発に向け、具体的に企画検討進行中。

TBS　THE SEVEN　LEGENDARY

THE SEVEN × Disney+　Studio Monowa

Netflixシリーズ
「九条の大罪」
(製作著作TBSテレビ)
2026年4月 世界配信

Netflixにて
2026年上半期で視聴された
日本の実写作品で2位を記録。

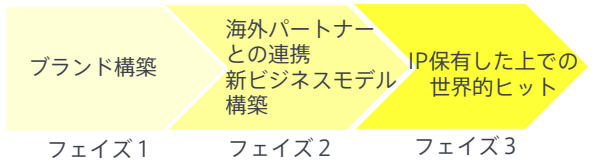
映画化が決定。
(2027年1月公開)

THE SEVEN

2026年度の売上高は63億円超を見込む。
2027年度には、海外OTT向けの3作品の完成納品を含め、81億円を超える売上高を見込む。

単位：百万円

	2026年度 予想	2027年度 予想
売上高	6,300	8,100



TBS x U-NEXT x THE SEVEN
グローバルプロジェクトドラマ
「ちるらん 新撰組鎮魂歌」
2026年5月世界配信

©橋本エイジ・梅村真也/コアミックス ©THE SEVEN

HBO Maxで全世界に配信。
のべ47か国でトップ10入りを果たす。

Netflixシリーズ
「国民クイズ」
2026年 世界配信

初のTHE SEVEN企画・制作のコンテンツ。
伝説的カルトコミックを完全映像化。

Netflixシリーズ
「俺のこと、なんか言ってた？」
2026年10月 世界配信

TBS「不適切にもほどがある！」や
Netflix「離婚しようよ」等、数々の話題作を生み出した脚本家・宮藤官九郎とプロデューサー・磯山晶がタッグを組む。

エデュテインメント

- 知育・教育とエンタテインメントの融合「EduTainment」事業、2030年度までに400億円規模の売上※を目指す
- NTT×TBS 共同出資会社「e6合同会社」8月8日設立へ

※やる気スイッチグループ等を含む

e6 project　～「自分で決める力」を育む次世代エデュテインメント事業を推進～

「感情騎士　-エモーショナル・ナイト-」118の元素をベースにする
キャラクターが生息する魔法の世界が舞台

e6合同会社

所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-5-8 ヒューリックJP赤坂ビル6F
設立日（予定）	2026年8月8日
共同代表（予定）	鈴木 邦治、久我 雄三
出資比率	NTT株式会社 50%、株式会社TBSホールディングス 50%

目的
・IPを活用した体験型AIコンテンツの開発・展開
・ゲーム・スマートフォンアプリ、カードゲーム等のコンテンツ創出
・「感情騎士　-エモーショナル・ナイト-」等のオリジナルIP開発
・ファン・クリエイター等によるコミュニティの構築

AI for School

・TBS／JNN NEWS DIGのニュースと学びをつなぐTBS独自の教育特化型生成AI学習支援ツール
・5月13日～15日、教育分野日本最大の展示会「EDIX東京」に出展、デモ機の体験が教員を中心に好評

TBSとして初出展となった「EDIX東京2026」の様子

アニメ事業

地上波レギュラー枠

幹 はTBSテレビ幹事作品　共幹 はTBSテレビ共同幹事作品

共幹

「レッツゴー怪奇組」
（7月 日曜ごご4:30）

©ビュー・バーグハンバーグ
バーグ・小学館クリエイティブ／
関東怪奇組

共幹

「スーパーの裏で
ヤニ吸うふたり」
（7月 木曜よる11:56）

©地主／SQUARE ENIX・
「ヤニすう」製作委員会

共幹

「乙女怪獣キャラメリゼ」
（7月 木曜深夜1:28）

©蒼木スピカ/KADOKAWA/
乙女怪獣キャラメリゼ製作委員会

「アオのハコ Season2」
（10月 日曜ごご4:30）

©三浦糀／集英社・
「アオのハコ」製作委員会

幹

「氷の城壁」
（10月 木曜よる11:56）

©阿賀沢紅茶／集英社・
TVアニメ「氷の城壁」製作委員会

（第2期）

幹

「氷剣の魔術師が
世界を統べるII」
（10月 木曜深夜1:28）

©御子柴奈々・講談社／
「氷剣の魔術師が世界を統べるII」
製作委員会

アニメエキスポ参加

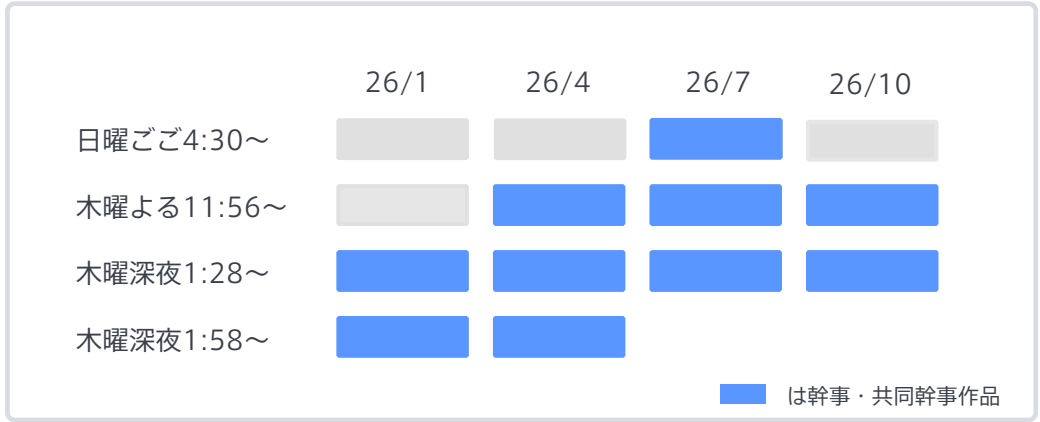
米・ロサンゼルスで開催された北米最大級のアニメの祭典「アニメエキスポ」（7月2日～5日）に二回目の参加。海外ファンとの直接接触による実態把握、今後の企画選定のための情報強化が狙い。

・映画化が決定している「タコピーの原罪」を中心としたトークパネルのほか、「氷の城壁」「スーパーの裏でヤニ吸うふたり」等、海外で高評価を得ている作品のパネル展開やクローズド上映を実施。

・4月期アニメ「氷の城壁」はNetflix配信時、各話配信のタイミングで他のNetflixオリジナル実写ドラマシリーズ等と並びデイリーTOP10入り。

TBSテレビ幹事作品数*の推移

*共同幹事作品含む



映画・興行のトピックス

世界配信ドラマを映画化

「映画　九条の大罪」

2027年1月8日公開

今年4月の配信直後から日本、そしてグローバルでヒットしたNetflixシリーズ「九条の大罪」（製作著作TBSテレビ）。完全新作を映画化。

62万人突破

「ピクサーの世界展」

世界7カ国で累計350万人以上を動員し、日本に初上陸した「ピクサーの世界展」。今年3月からの総観客数は62万人を突破し、大ヒット開催中。期間限定10月12日まで。

ラストイヤー、150万人突破

舞台
「ハリー・ポッターと呪いの子」

舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」は総観客数150万人突破。2026年はラストイヤーを記念して、歴代キャストが次々にカムバックする。

映画・興行・催事　今後のラインアップ

TBS

2026年8月6日　現在

	期間	タイトル	備考
映画	2026/10/23公開	「うるわしの宵の月」	配給：東宝
	2027/1/8公開	「映画　九条の大罪」	配給：東宝
興行	2022/7/8~2026/12/27	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2026/8/8~8/11	宇野昌磨アイスショー「Ice Brave-A TURNING SEASON-」	東京辰巳アイスアリーナ
	2026/8/14~8/16	「クレイジージャーニーライブ 2026 夏」	TBS赤坂BLITZスタジオ
	2026/8/19~8/30	ブロードウェイミュージカル「シカゴ」30周年記念来日公演	東急シアターオーブ
	2026/8/22	「ラヴィット！ロック 2026」	国立代々木競技場第一体育館
	2026/8/23	VIVANT PREMIUM SUMMER PARTY	国立代々木競技場第一体育館
	2026/9/11~9/13	「CDTVライブ！ライブ！秋の大感謝祭2026」	東京ガーデンシアター
	2026/9/11~9/17,9/25~9/27	「古川雄大 The Greatest Concert vol.3 –Man of the Stage-」	東京国際フォーラム　ホールC　ほか
	2026/9/20~9/27	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Autumn 2026 「クレオパトラ」	Bunkamuraオーチャードホール
	2026/9/30~10/18,10/22~10/25	舞台「ナイボー！」	東京建物 ぴあ シアター　ほか
	2026/10/1~10/7	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Autumn Tour 2026「白鳥の湖」	新宿文化センター　大ホール
	2026/10/6~10/22,10/29~11/1	「THE ALUCARD SHOW」	日本青年館ホール　ほか
催事	2026/3/20~10/12	「ピクサーの世界展」あなたが夢見た物語の世界へ	ＣＲＥＶＩＡ ＢＡＳＥ Tokyo
	2026/5/29~8/12	大ゴッホ展Ⅰ「夜のカフェテラス」	上野の森美術館
	2026/6/10~9/21	ピカソ meets ポール・スミス　遊び心の冒険へ	国立新美術館 企画展示室 2E
	2026/7/18~8/16	「ギガマート展」	麻布台ヒルズギャラリー

赤坂エンタテインメント・シティ

赤坂エンタテインメント・シティ　エリア全体マップ

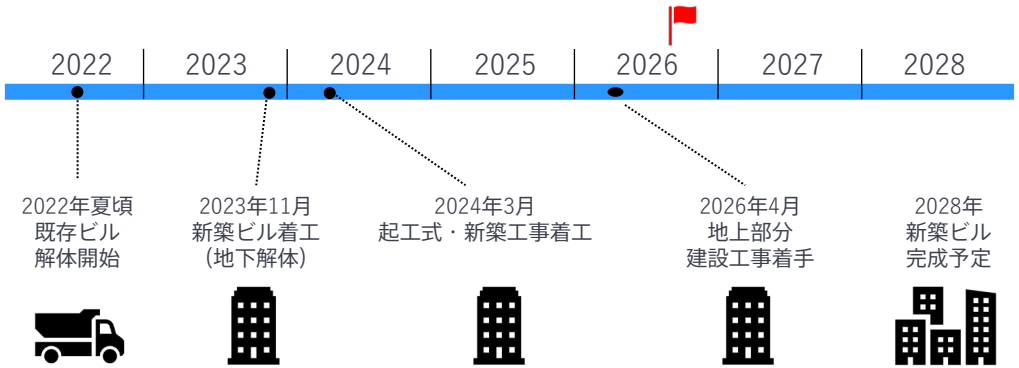
再開発エリアの完成予想図（東棟・西棟）

西棟

キャノピーbyヒルトン東京赤坂（西棟）

※画像はイメージです。実際と異なる可能性があります。

再開発エリアの工事スケジュール



2026年度　第1四半期決算ハイライト

2026年度　業績見通し

株主還元

その他トピックス

▶参考資料

設備投資と減価償却費

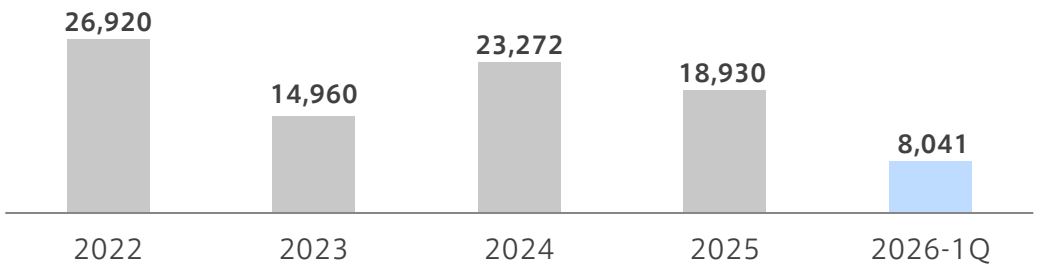
連結	2026年度 1Q	前年差
設備投資	8,041	+4,377
減価償却費	3,585	+69

単位: 百万円

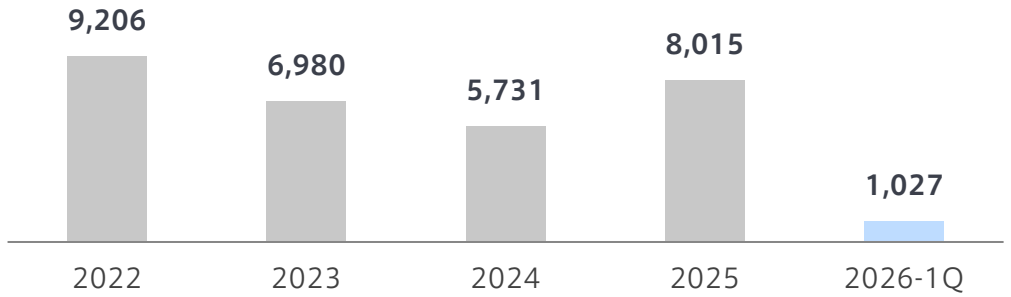
TBSテレビ	2026年度 1Q	前年差
設備投資	1,027	▲361
減価償却費	1,150	▲639

単位: 百万円

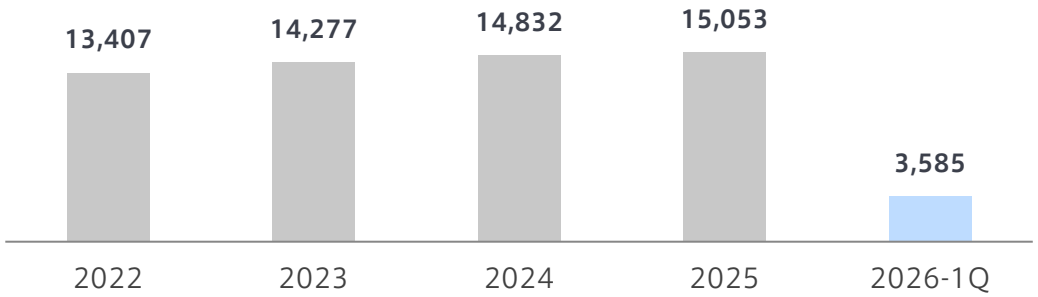
連結設備投資



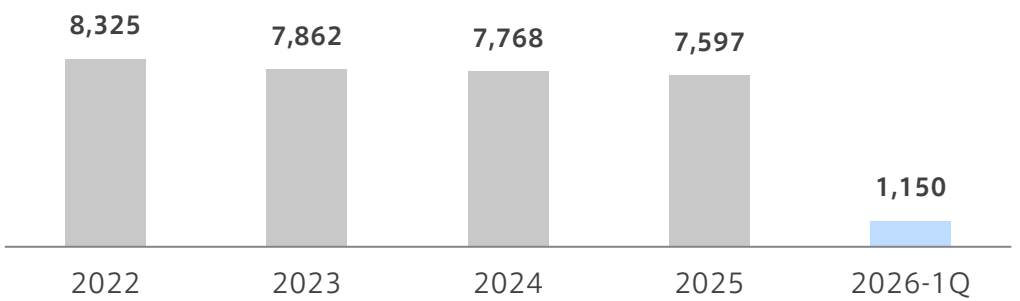
TBSテレビ設備投資



連結減価償却費



TBSテレビ減価償却費



連結貸借対照表

TBS

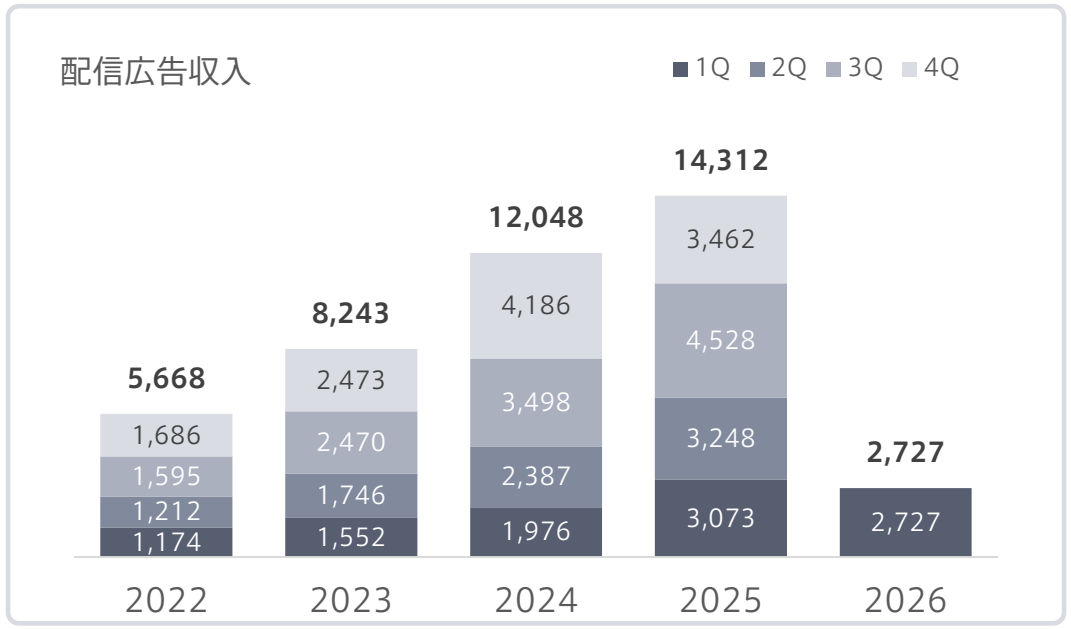
単位:
百万円

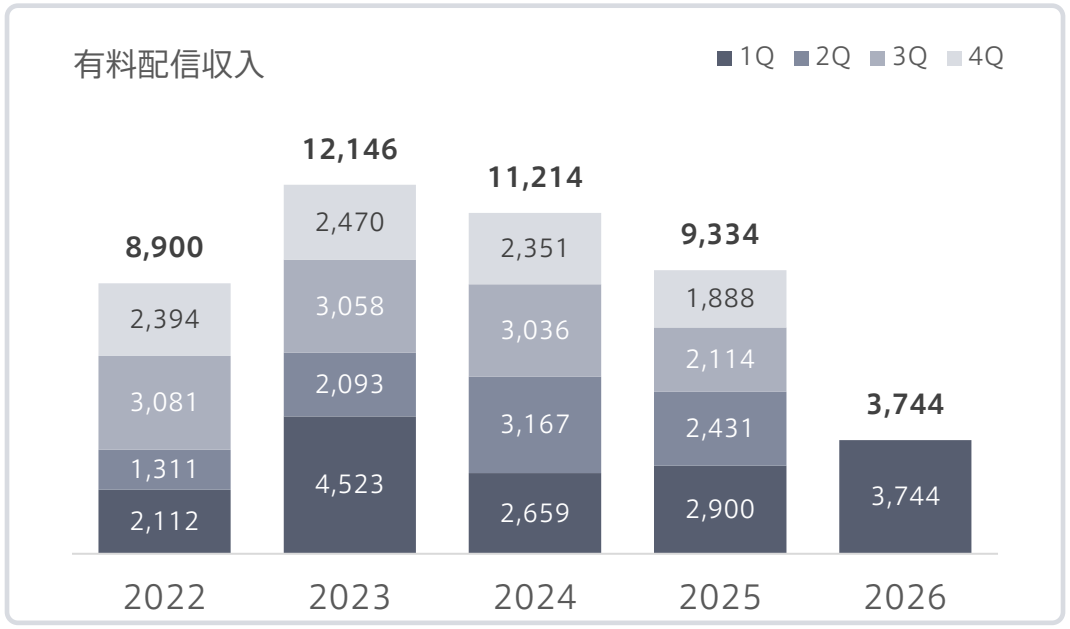
	2026年3月末	2026年6月末	比較		2026年3月末	2026年6月末	比較
流動資産	270,188	**225,526**	▲44,661	流動負債	111,216	**95,004**	▲16,211
				固定負債	381,613	**612,609**	+230,995
				負債合計	492,830	**707,614**	+214,783
固定資産	1,358,032	**2,097,800**	+739,767	自己資本	1,127,718	**1,607,460**	+479,742
				非支配株主持分	7,672	**8,252**	+580
				純資産合計	1,135,390	**1,615,713**	+480,322
資産合計	1,628,220	**2,323,327**	+695,106	**負債純資産合計**	1,628,220	**2,323,327**	+695,106

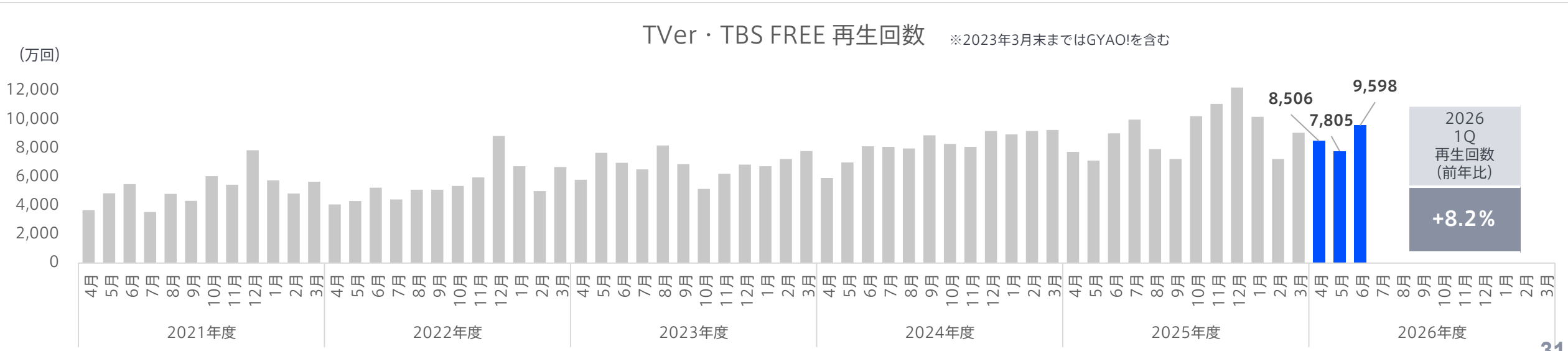
四半期末有利子負債残高　791億円　（前期末比　+54億円）

※ リース債務は除く

配信収入経年推移とTVer・TBS FREE 再生回数







LTV4-59視聴率(4-59歳)・ALL視聴率

※【 】内は前年差　単位：%、2026/3/30～2026/6/28 ：週ベース、ビデオリサーチ調べ：関東地区

TBS

LTV4-59

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	**②1.8【+0.1】**	**②3.7【+0.1】**	**②3.5【+0.1】**	**③1.3【0.0】**
日本テレビ	①2.6【0.0】	①4.5【0.0】	①4.1【▲0.1】	①2.1【0.0】
テレビ朝日	④1.4【0.0】	④2.3【0.0】	③2.5【0.0】	④1.1【0.0】
テレビ東京	⑥0.5【0.0】	⑥1.4【0.0】	⑥1.3【0.0】	⑥0.3【0.0】
フジテレビ	③1.6【0.0】	③2.7【▲0.2】	③2.5【▲0.3】	②1.4【+0.1】
NHK	⑤0.9【0.0】	⑤2.0【+0.1】	⑤1.8【+0.1】	⑤0.6【▲0.1】
PUT	9.9【0.0】	18.3【▲0.2】	17.3【▲0.2】	7.8【0.0】

ALL

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	**④2.5【▲0.1】**	**④4.1【0.0】**	**④3.9【0.0】**	**④2.1【▲0.1】**
日本テレビ	②3.3【+0.1】	①5.0【0.0】	②4.6【0.0】	①2.9【+0.1】
テレビ朝日	①3.4【+0.1】	①5.0【+0.1】	①5.1【+0.1】	①2.9【0.0】
テレビ東京	⑥1.1【0.0】	⑥2.8【0.0】	⑥2.4【▲0.1】	⑥0.7【0.0】
フジテレビ	⑤1.9【▲0.1】	⑤2.9【▲0.5】	⑤2.8【▲0.5】	⑤1.7【0.0】
NHK	③2.7【+0.1】	①5.0【+0.2】	③4.4【+0.2】	③2.2【0.0】
PUT	17.7【▲0.1】	29.1【▲0.4】	27.1【▲0.4】	15.0【0.0】

タイム・スポット収入対前年比

単位：
百万円

	タイム			スポット				備考
	2026	前年差	増減率	2026	前年差	増減率	地区投下（推計）	
4月	7,250	▲104	▲1.4%	6,815	▲705	▲9.4%	+4.5%	
5月	6,474	▲91	▲1.4%	6,940	▲604	▲8.0%	+4.6%	
6月	5,982	▲408	▲6.4%	5,931	▲1,351	▲18.6%	▲5.3%	
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								
1Q	19,707	▲605	▲3.0%	19,687	▲2,662	▲11.9%	+1.3%	
2Q								
3Q								
4Q								
通期								

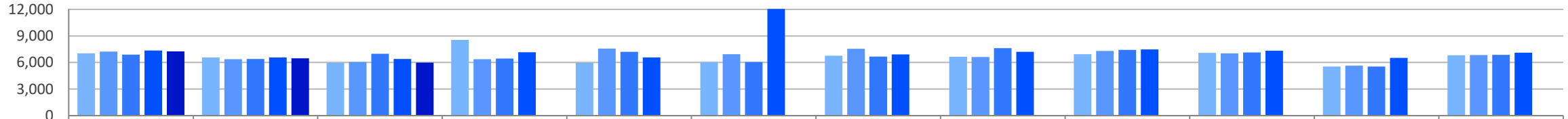
スポット5局シェア（推計）四半期推移

2022年度　20.6%（累計）				2023年度　20.5%（累計）				2024年度　21.5%（累計）				2025年度　22.1%（累計）				2026年度　21.7%（累計）			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1	20.8	21.4	20.9	23.2	25.0	20.9	21.7	21.0	21.7			

タイム・スポット収入　経年推移

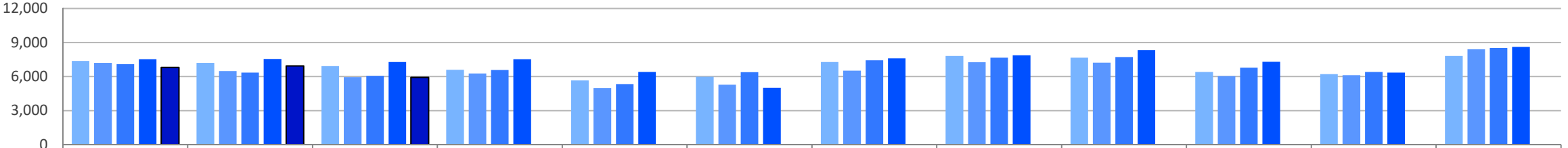
タイム収入

単位：百万円



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年度	7,036	6,560	5,968	8,541	5,953	6,048	6,776	6,646	6,939	7,080	5,552	6,810
2023年度	7,229	6,380	6,055	6,388	7,563	6,941	7,559	6,621	7,314	7,047	5,640	6,848
2024年度	6,890	6,408	6,988	6,439	7,219	6,055	6,661	7,634	7,421	7,130	5,538	6,876
2025年度	7,355	6,566	6,391	7,151	6,581	12,040	6,906	7,207	7,479	7,337	6,527	7,105
2026年度	7,250	6,474	5,982									

スポット収入



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年度	7,380	7,200	6,927	6,596	5,669	5,991	7,282	7,808	7,660	6,406	6,224	7,819
2023年度	7,201	6,488	5,951	6,270	5,004	5,289	6,526	7,260	7,218	6,042	6,120	8,403
2024年度	7,100	6,350	6,061	6,572	5,339	6,391	7,430	7,659	7,713	6,796	6,409	8,531
2025年度	7,521	7,545	7,283	7,534	6,410	5,015	7,609	7,874	8,340	7,301	6,356	8,619
2026年度	6,815	6,940	5,931									

業種別スポット売上順位

単位：%

	2025年度（1Q）	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	+0.3	12.1
2	酒・飲料	▲0.2	12.0
3	食品	+13.8	10.2
4	外食・サービス	+51.9	10.1
5	医薬品	+19.8	7.1
6	交通・レジャー	+9.9	6.8
7	化粧品・トイレタリー	▲3.9	6.0
8	金融	+16.7	5.3
9	自動車・輸送機器	+19.4	4.5
10	流通	+83.9	4.1

※ 順位は金額順

単位：%

	2026年度（1Q）	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	+24.4	17.1
2	酒・飲料	▲21.7	10.6
3	食品	▲17.5	9.5
4	外食・サービス	▲26.6	8.4
5	自動車・輸送機器	+11.4	5.7
6	金融	▲12.6	5.3
7	交通・レジャー	▲32.3	5.2
8	医薬品	▲35.7	5.1
9	化粧品・トイレタリー	▲25.0	5.1
10	エンターテイメント・趣味	▲5.5	4.2

※ 順位は金額順

連結会社一覧 ※ 2026年6月末現在

TBS

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ(20社)

(株) TBSラジオ
(株) BS-TBS
(株) TBSスパークル
(株) TBSグロウディア
(株) TBSアクト
(株) CS-TBS
(株) 日音
(株) TBSメディア総合研究所
TCエンタテインメント (株)
(株) Seven Arcs
(株) マンガボックス
(株) THE SEVEN
(株) SAND B
(株) ケイコンテンツ
(株) ＷＡＣＵＬ
(株)100
TOKYO BROADCASTING SYSTEM INTERNATIONAL, INC.
Bellon Entertainment Inc.
THE SEVEN US, INC.
TOKYO BROADCASTING SYSTEM KOREA, INC.

ライフスタイル(8社)

(株) スタイリングライフ・ホールディングス
(株) CPコスメティクス
(株) ビコーズ
(株) やる気スイッチグループホールディングス
(株) やる気スイッチグループ
(株) やる気スイッチキャリア
(株) YPスイッチ
(株) 寺小屋グループ

不動産・その他(5社)

(株) TBS企画
(株) 緑山スタジオ・シティ
赤坂熱供給 (株)
(株) TBSサンワーク
(株) TBSヘクサ

持分法適用(7社)

(株) WOWOW
(株) リトプラ
(株) U-NEXT
(株) StudioMonowa
(株) YGC
(株) サンリオやる気エデュテイリング
台灣拓人教育事業股份有限公司